

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 10 回 定例委員会
日時	平成27年9月25日 自 15時00分 至 16時20分
場所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫 委員 和野 幸夫
欠席委員	
会議録署名委員	植木 忠夫 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 前田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 松 浦 務 教 育 部 次 長 荒 物 屋 貢 一 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 指 導 室 長 中 川 恵 介 第1学校給食共同調理場長 宮 嶋 和 久 第2学校給食共同調理場長 鈴 木 朗 指 導 室 指 導 主 事 遠 藤 佳 伸 総 務 企 画 課 総 務 係 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 前 田 亜 矢 子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（上原委員長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（植木忠夫委員）
3 会議録の承認
（上原委員長） 第9回定例教育委員会（平成27年8月21日開催）の会議録について、何かご質疑がございますか。
（一同「なし」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（教育長） 本日は澄川小学校、午後から清水小学校の視察をいただき、ありがとうございます。お気づきの点がありましたら、別の機会にでもご指摘をいただきたいと思います。また、先日の苫小牧市美術博物館（あみゅー）特別展「花ひらく近代洋画の世界」オープニングセレモニーには、委員長を初め全教育委員に参加をいただきまして、ありがとうございます。
中学校では、9月16日から学校祭シーズンを迎えております。また、小学校も修学旅行が一段落し、学芸会や学習発表会に向けての準備が始まり、充実した教育活動を進めているところであります。
先月の8月21日の定例教育委員会議以降の行事などについて、報告をさせていただきます。

はじめに、昨年の8月・9月に比べますと今年は臨時休業もなく順調に経過をしておりますが、平成27年9月関東・東北豪雨により、茨城、栃木、宮城県では亡くなられた方もおり、ご冥福を祈るとともに一日も早い復興を祈るものであります。年々、雨の降り方が凶暴になってきていると感じているのは、私だけではないと思います。
更に危機管理意識を高めて対処することが必要であると考えております。
関連しまして、本市では9月2日に発令された大雨洪水警報により、避難所を明德小学校と美園小学校に開設いたしました。この避難所の開設・運営には、それぞれの学校の先生や公務補が協力をして非常にスムーズに業務が遂行できたと聞いております。先の校長会でもお礼を述べ、今後も地域と協力した学校体制を心掛けていただきたいと思いますとお話をしたところです。
次に、8月29日に「第7回札幌響親子しおさいコンサート」が市民会館で開催されました。北海道新聞社、苫小牧民報社、そして苫小牧市教育研究会音楽研究部会の先生にもお手伝いをいただき、子供たちに札幌交響楽団の一流の演奏を鑑賞してもらう音楽教室であります。今年の中井章徳氏が指揮をし、そして説明をされ、その軽快な指揮と軽妙なトークにより、子供達がどんどん惹きつけられた演奏会でありました。
恒例の直来では、反保校長先生から中井氏に対して教師の見本になる語り口であったと賞賛のスピーチがありました。子供たちも非常に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思いますし、昨年を上回る約900人の入場をいただきました。年々定着してきていると実感したところでもあります。
次に、第3回苫小牧市議会定例会についてであります。9月3日から11日までの会期で、一般質問は15名の議員から22項目について質疑がありました。教育に対して、久々に多くの議員が質疑をいたしました。
項目としては、「特別支援学校について」、「特別支援学級について」、関連して「啓北中学校山なみ分校について」、東小中学校、明德小学校、沼ノ端中学校に関連して「規模適正化プランについて」、自衛官募集に対する「個人情報管理について」、「第2学校給食共同調理場の移転について」、「市立中央図書館、学校図書館につい

て」、「学校公務補事務補について」、「小中一貫教育について」、「学校開放事業の暖房について」、「防災教育について」などであります。

規模適正化プランに関しましては、先に校長会と協議した内容を示して、プラン、各ブロックの方向性を発信いたしました。今後、保護者や地域にも発信することになると考えております。教育行政に関わる細かな事業内容やその方向性に加えて、先生の交通事故違反、教育委員会職員の不適切な事務処理なども含め、議会全体を通して教育行政に対するの関心の高さを特に感じた議会となりました。今後も、更に気を引き締めて事業を執行しなければならないと感じました。答弁要旨につきましては、別途整理をしたいと考えております。

次に、主幹教諭、教頭昇任試験、校長採用試験についてであります。校長採用には26名、教頭昇任には7名が挑戦をいたします。教員の多忙感の頂点にいる教頭職に挑む皆さんの気概に感謝するとともに、今後の成長や活躍を祈りたいと思います。また、この時期は人事関係の照会文書も加わり非常に忙しい時期になりますことから、校長会では他の仕事との調整を図り、早め早めの整理や対処に心掛けていただきたいとお話をさせていただきました。私からは以上であります。

(上原委員長) ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問等ございますか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 平成27年度全国学力・学習状況調査結果の考察及び苫小牧市統一学力検査の結果と考察の公表について

<p>(指導室長) ー平成27年度全国学力・学習状況調査結果の考察及び苫小牧市統一学力検査の結果と考察の公表について説明ー</p>
<p>(上原委員長) それでは質疑に付します。何かございますか。</p>
<p>私の方からいいでしょうか。1つは文字の意味なのですが、1ページ目の下から黒い星の3つ目、「中学校の正答数の分布グラフでは、全国の分布に比べて、国語と理科では上位層が薄く下位と中位の間の層が厚い傾向が見られ、数学では上位層が薄く」、その次の「階層」という意味なのですが、これは多分「上位・下位」の「下位層」が厚い傾向が見られますというようなことではないかなと思うのですが、これは単なる間違いですかね。それと、もう1つはですね、いろいろな取組をされ、大変努力をされて、一部結果的に成果が上がっているものもありますし、また、なかなか上がらない部分もあると思います。その中で、いわゆる教師サイド、保護者サイドの両方があると思うのですが、たしか道教委の指導もあったと思うのですが、保護者を集めた研修といたしますか、そのようなものを計画されたようにも聞いているのですが、その実態がどうだったのか、それをお聞かせいただきたいと思います。以上2点お願いいたします。</p>
<p>(指導室長) まず「階層」については誤字でございまして、訂正してお詫び申し上げます。改めて手直ししたものを差し替えさせていただきたいと思います。</p>
<p>それから、2つ目のご質問の家庭への協力依頼、とりわけ学習習慣や生活習慣の改善に向けた取組ですが、今年度になりまして「学びの3か条」を示させていただいて、これについては小中学校の校長会や市P連とも連携をさせていただいて、手始めに市P連の総会でお示しをさせていただいて、その後市P連の母親委員会でも説明させていただきました。今後も予定がいろいろ入ってきておりますが、数多くの小中学校のPTAを対象とした集まりの時に我々がおじゃまさせていただいて、「学びの3か条」の普及・促進に向けてご説明をさせていただいているところでございます。おかげさまで参観日の時には、小学校であれば低学年、中学年、高学年の3回に分けて説明させていただきたいとの要望を学校からいただきまして、可能な限りそれに応えて取</p>

り組んでいるところですが、しかしながら今回の児童・生徒質問紙調査の結果を見ますと、もう少し取組を強化して、家庭との連携をこれからも一層強化していかなければならないなという認識を持っております。

(上原委員長) 保護者を集めたそのような研修会とかですね、これに関していろいろなことをされているというのはわかりました。それで、保護者の家庭環境といえますか、そういうものは恐らくいろいろなパターンがあるのではないかと思いますので、そうすると一律に保護者対象のものをやるには限度があるような気がします。では、その反面どうするかということになりますと、教師サイドですね、いわゆる先生のレベルを上げるといいますか、先生の熱意を感じるようなことをやっていく、いわゆる教師のレベルを上げていくということも必要な気がするのですが、そこら辺はどうでしょうか。

(指導室長) まず、学校によって児童生徒の実態は様々ですので、教師の取組というよりむしろ学校としての取組で、家に帰ってなかなか学習に取り組める環境にない子供については、放課後に集めて学習支援に入っている小学校も地域によってございます。また、教師力の向上につきましては、夏休みや冬休みに研修講座がありまして、調査・検査の結果で出てきたことについて、その状況を共有してどうやってそこを補充あるいは補完するような指導をしていけば良いのか、今求められている授業スタイルを確立するために、各学校で必ず1名以上は出ていただいて、授業改善に向けた研修講座を実施しております。同時に、昨年度から授業改善推進教師(LIT)という先生方を配置するとともに、今年度については授業改善推進チームを編成し、昨年度から引き続き秋田県への小中学校の視察というものを実施しており、それについては今後も継続していきたいと考えております。

(上原委員長) わかりました。他に何かございませんか。それでは、質疑がないようですので、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

第2号 平成27年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について

第3号 教育委員会職員の処分について（諮問・報告）

その他（3） 教育委員会職員の人事異動に係る協議について（報告）

（上原委員長） 議案第2号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定に基づきまして秘密会としたいと思います。また、同じく議案第3号、その他（3）につきましても人事案件でございますので、秘密会としたいと思います。

この場合、議案第2号、第3号及びその他（3）の審議を日程の最後に行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（一同「はい」の声）

（上原委員長） それでは、議案第2号、第3号及びその他（3）を秘密会とすることに決定いたしまして、当該議案の審議を日程の最後に行うことにいたします。

6 協 議

（上原委員長） 何か協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。

（一同「なし」の声）

7 その他
(1) 平成26年度苫小牧市学校給食会決算書について
(第1学校給食共同調理場長) ー平成26年度苫小牧市学校給食会決算書について
説明ー
(上原委員長) 質疑に付します。何かございますか。
(佐藤守委員) 1点確認したいのですが、収入未済額が載っていますが、これは前年度と比べると増えているということではよろしいのでしょうか。
(第1学校給食共同調理場長) 収入未済額につきましては、平成25年度決算では3,250万円程ございましたが、平成26年度決算では2,003万5,000円程ということですので、収入未済額については減ってきております。これは、収納を担当している職員の努力によるものだと考えております。
(佐藤守委員) あと1点だけよろしいでしょうか。集金により未収額が減ったということですが、その他に何か新しい方法を取り入れるというような考えはありますか。
(第1学校給食共同調理場長) 新しい試みという訳ではございませんが、基本的に給食費の納入というのは銀行引き落としですとか納付書払いということをお願いをしておりますが、なかなかそこに結びつかずに直接取りにきて欲しいという方が大変増えてきている状況がございまして、そういう方に対しては、シルバー人材センターの方に依頼をしておりますが、人数が去年は2人体制でしたが今年は3人体制になりまして、直接集金するという形が増えている状況でございます。
(佐藤守委員) 聞くところによると、払えるのに払わない人がいるという状況が見えていると思いますが、その辺の対策は何か考えられているのでしょうか。
(第1学校給食共同調理場長) その辺につきましては、直接お会いして話をすることで給食についてのご理解をいただくということで、先ほどお話ししたように専任の

<p>担当者が配置されておりますので、朝晩時間をかけて話し合いに回っているという状況でございます。</p>
<p>(佐藤守委員) わかりました。</p>
<p>(上原委員長) 他にございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) それでは他に質疑がないようですので、質疑を終結いたします。</p>
<p>(2) 平成27年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会結果報告について</p>
<p>(総務企画課総務係長) ー平成27年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会結果報告について説明ー</p>
<p>(上原委員長) 何か質問ございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(上原委員長) 質問がないようですので、質疑を終結いたします。</p>
<p>それでは、先ほど秘密会で行うことといたしました議案第2号、第3号及びその他(3)の審議を行いたいと思いますので、関係者以外の方は退席をお願いいたします。</p>
<p>(上原委員長) それでは、秘密会を解かさせていただいて委員会を再開いたします。</p>
<p>先ほどの秘密会におきまして、議案第2号及び第3号は原案どおり決定いたしました。さらに、その他(3)につきましては報告どおり終結いたしました。その他でござ</p>

ございますが、何かお持ちの方はいらっしゃいますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（上原委員長）・・・16時20分